

～3年ぶりにまつりが帰ってきた！～

新型コロナウイルス感染症の影響で、2年連続での中止を余儀なくされた水戸黄門まつり。今年は伝統と文化を未来へつないでいくために、開催手法を変更し、感染症対策を講じたうえで実施されました。

10月22日には、千波湖で「水戸偕楽園花火大会」が開催され、趣向を凝らした約5,000発の花火に、会場からは歓声が上がりました。

11月5日には、県三の丸庁舎敷地内をメイン会場として、「本祭」が開催されました。会場の中心に展示された「水戸ふるさとみこし」が来場者を出迎え、水戸黄門カーニバルや山車巡行、神輿連合渡御、オータムドリームフェスタなどで賑わいました。夜には、「水戸黄門提灯行列」が水戸学の道を通って大手門をくぐり抜け、メイン会場へ。まつりの最後には、山車の大叩き合いと神輿の総担ぎが共演し、来年度の開催に向けた「みんなで明日への三本締め」で幕を閉じました。

